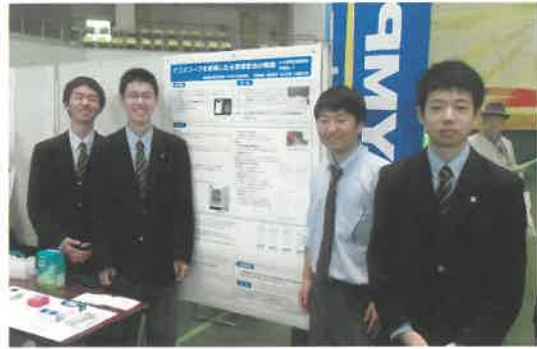


環境フェスタで発表

科学部の活躍



十月十四日(日)に会津若松市鶴ヶ城体育館で開催された「会津若松市環境フェスタ」に、本校科学部の生徒十名が参加し発表をしました。この催しは市の環境生活課が企画して、毎年行われているものです。「持続性のある環境づくり」をテーマに市の各部署や会津の企業が集い、様々なテーマのブースを開いています。ここに本校科学部も参加依頼を受けて初めて参加することになったのです。

発表テーマは、「会津メダカの遺伝的攪乱に関する研究」(〇)当地メダカを救え、

「国産小麦「ゆめちから」の耐塩性に関する研究」(安全な食材づくりを目指して)、「ピコスコープを使用した水

質測定法の確立」(より正確で再現性のあるバックテストの濃度測定をめざして)の三点です。各々が日頃から研究を積み重ね、その成果を分かりやすく伝えるために練習をしてきました。来場した方々に皆熱心に説明していました。

十一月には会津地区理科生徒研究発表会、福島県理科生徒研究発表会が開催されます。今回の発表会の成功を通して、彼らはこれらの参加はもちろんのこと、年末や二・三月に開催される外部の発表会や学会に向けてもより内容を高める決意を新たにしています。



なよたけの心を今に受け継ぐ

舞踊部 なぎなた部の活躍

会津若松市内に善龍寺というお寺があり、戊辰戦争で犠牲になった婦女子を顕彰する碑が立てられています。碑には幕末の家老 西郷頼母の妻千恵子の辞世の歌からとった、女性を意味する「奈良竹」の文字が刻まれています。

例年五月一日には、慰霊のための碑前祭が行われており、本校からは舞踊部となぎなた部が招かれて参加しました。当日は参列者焼香のあと舞踊部が女白虎隊の踊りを、なぎなた部が演舞を奉納し、大きな拍手をいただきました。これをもって閉会となりましたが、幕末を生きた先人の心に思いをはせる一日となりました。



あいさつ運動

今年度も六月・十月の衣替えと八月の夏休み明けに六日間、健全育成委員会の保護者で葵高等学校の正面においてあいさつ運動を行いました。衣替えの時に生徒たちのさわやかな笑顔を見ることができ、保護者自身も気分よく行うことができました。

あいさつ運動は、思春期まっただ中の生徒の皆さんには、少し気恥ずかしい面もあると思いますが、皆さん多少なりともあいさつを返してくれ、中には礼儀正しくお辞儀をしてくれた方もいて、こちらも礼を正す気持ちになりました。

あいさつはこれから社会に巣立つ生徒の皆さんが、他人とのコミュニケーションのきっかけになることも多いと思います。元氣よくしてくれたい人も、気恥ずかしくしてくれた人もこれからは普段からあいさつをこころがけてください。きつとすてきな出会いがあると思います。(健全育成委員長)

写真募集!! フォトコンテスト

前号でお知らせした生徒の活動の写真の募集について応募が少ないので、再度募集します。第七十八号を確認していただき是非たくさんご応募下さい。



AOI-SOUMU-gr@fcs.ed.jp

